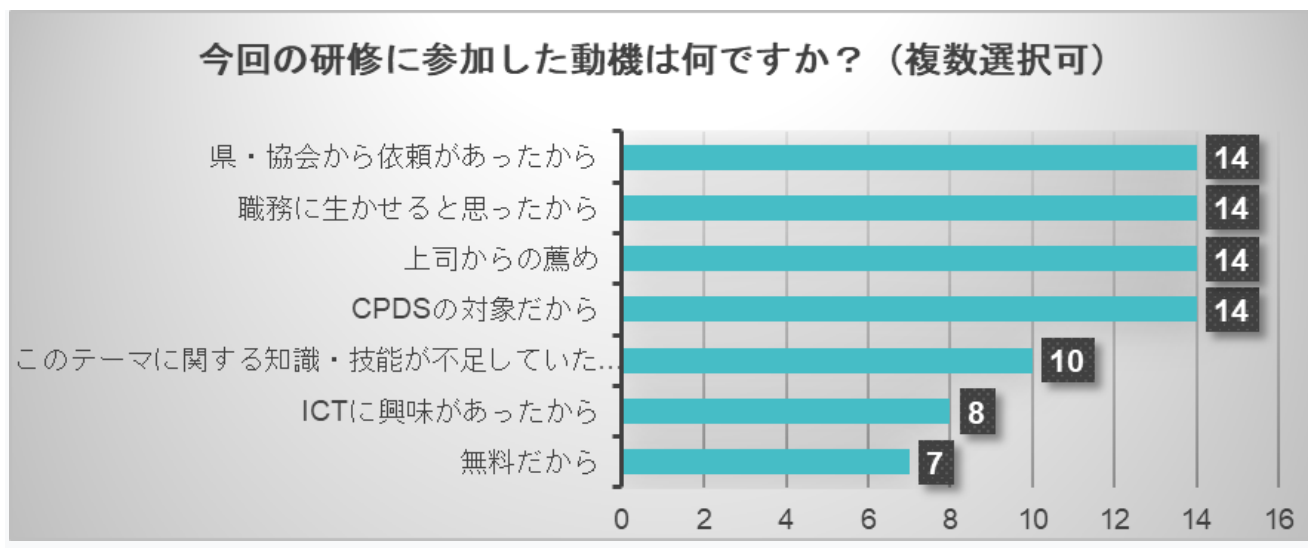
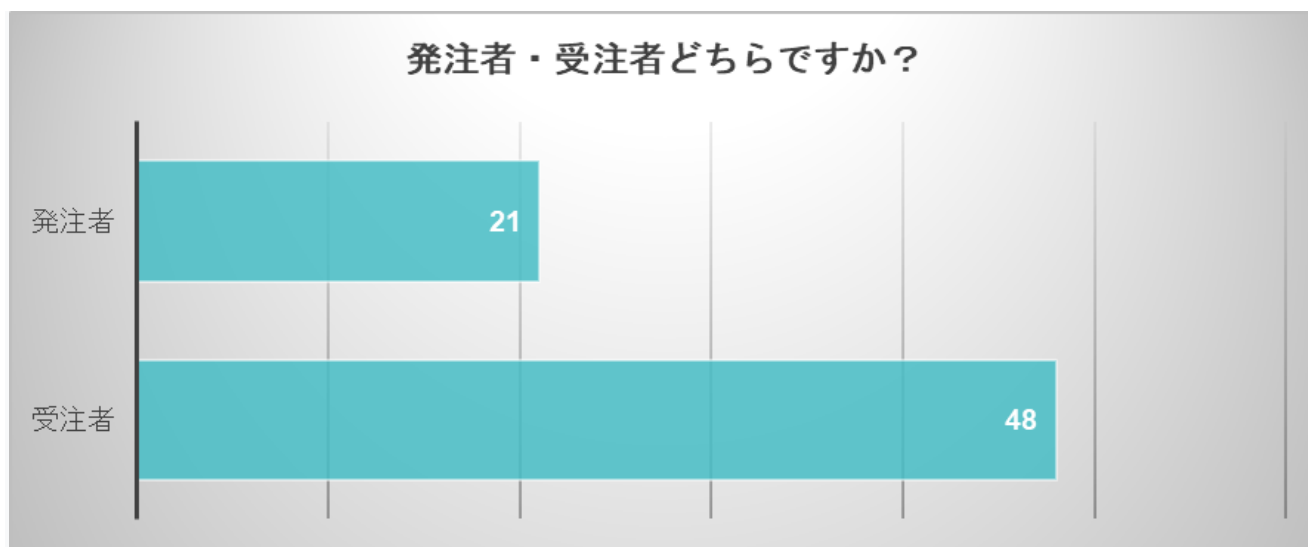


『ICT 活用実践研修(3会場)』（全体）受講確認シート集計結果

1. 参加状況

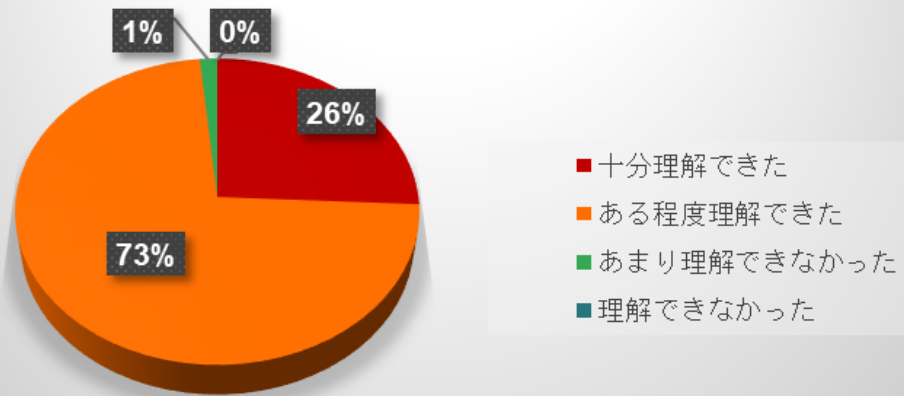
区分	申込み	参加者	アンケート回答	出席率
建設業	66	66	48	100.0%
その他（協会）	2	2	0	100.0%
県	34	32	21	94.1%
市町村	5	5		100.0%
計	107	105	69	98.1%

2. アンケート結果

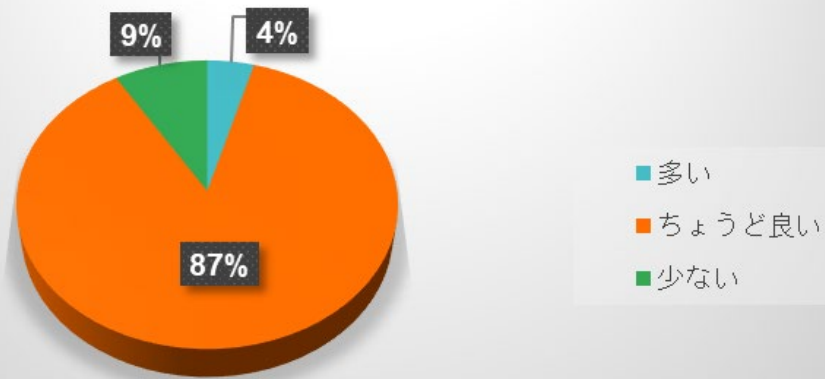


『ICT 活用実践研修(3会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

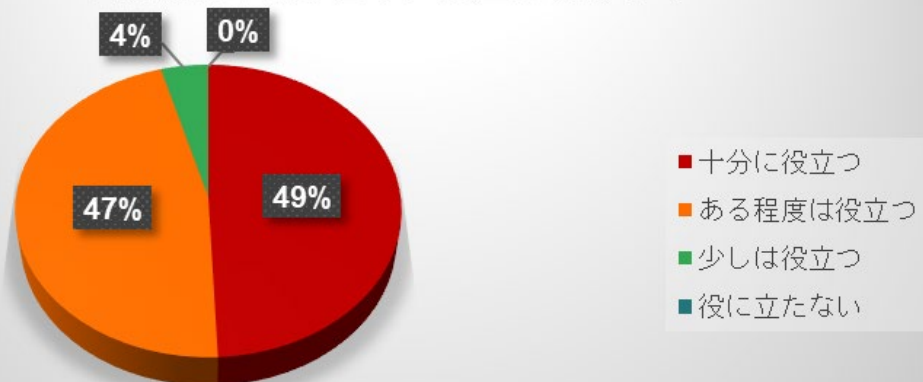
本研修の内容について理解できましたか？



本研修の時間配分は適当でしたか？



本研修は今後の仕事に役立ちますか？

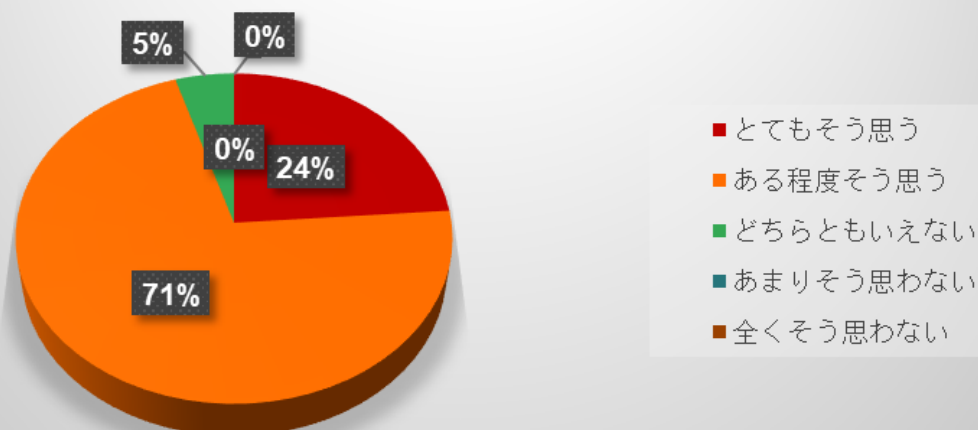


『ICT 活用実践研修(3会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

空白

『ICT 活用実践研修(3 会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

発注者の方に伺います。
ICTを(新たに、引き続き)活用したいと思いましたか？



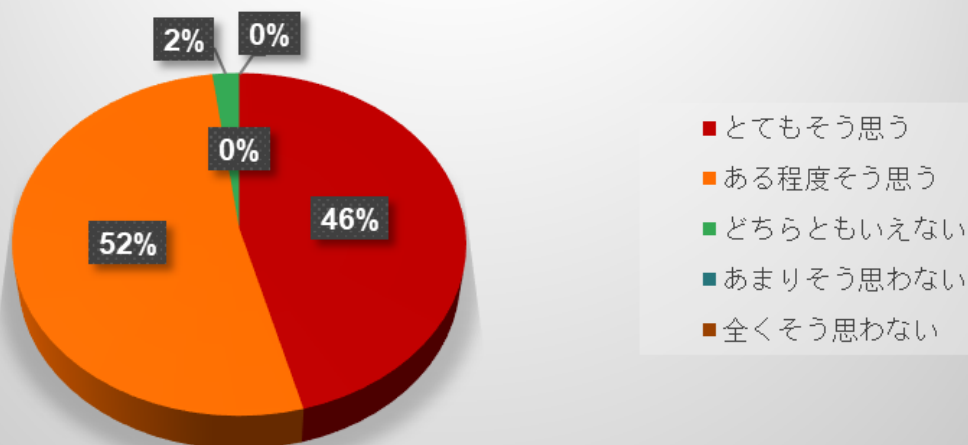
発注者・受注者の両方に伺います。

⑥の質問でそのように思う理由は何ですか。(凡例:発注者 受注者)

- 工事を行う上でとても便利だと感じたから
- 今の部署では発注工事が無いが、今後発注部門に変わったときに生かしていきたい。
- 今後の経験のため
- これから必要となる分野だから
- 作業の効率化が図られるため。
- 受発注者ともに ICT を活用することでメリットがあると感じたから
- これからは当たり前になっていくことが理解できたため
- 技術や製品の進歩が速く、常に最新情報や制度の動向に関心をもっておくべきと感じるから
- 技術は進歩しているから
- 受注者、発注者ともに利点があると思ったから。
- 施工スピードがはやく、また協議の際に 3次元設計データがあるとわかりやすいから。
- 担い手不足解消に繋がるとは思いますが、環境的に難しい場所で施行が出来ないところがある。
- 生産性の向上に必ずつながる為
- 大規模な工事が少ない
- 省力化のために必要とは思いますが、事務手続きが増えることが億劫
- 今後 ICT 活用が必須となるため。
- "建設業界では担い手不足・長時間労働などの課題があり、ICT はそれらを解決する重要な鍵となっています。また、ICT の活用によって、これまで手作業で時間がかかっていた業務を効率化し、ミスの削減や生産性向上につながられると本日改めて感じました。ICT の活用が進むことで、より安全で効率的な現場づくりに貢献でき、鳥根県全体の建設工事の未来を支えることが出来ると感じています。"

『ICT 活用実践研修(3会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

受注者の方に伺います。
ICTを(新たに、引き続き)活用したいと思いましたか？



発注者・受注者の両方に伺います。

⑥の質問でそのように思う理由は何ですか。(凡例:発注者 受注者)

- これからの施工の標準的な考え方になってくるため
- 業務の効率化
- 作業の効率化により作業時間や人員が削減できると思うため
- 工事内容による
- ICTを活用することにより、業務の効率化や人手不足の対策とすることができると思う。
- 今後、ICTが主流になると思うから
- そのうち義務化されそうだから 面白いから
- 発注者指定になって行くと思うから
- やはり工事規模によりけりだと思うから
- 省人化の時代で今後国の方針としてもやる時代が来ると思うから
- 便利だと思うが、機器やソフトの購入費用がかなり必要、及び現場サイドへのICT施工に関する負担が甚大であるから
- 自社の請負では対象となる工事が少ないため
- 実際圃場整備の現場で活用しているので参考になった
- 建設業へ従事する人手不足、作業員の高齢化、作業効率等も鑑みると引き続き活用をしていかなければならないかなと思います。
- 作業効率の向上やミスの減少が図れるがデータ作成に多少手間がかかる
- 省力化
- 使いこなせればとても良いものだと思うから
- 作業効率が向上すると思ったから
- 施工力が上がるため
- 活用することで施工能力が向上すると感じたから
- 時代にあった働き方だと思うので
- 現場での作業時間の短縮が見込めそうだから
- 自社も機械を導入した為、次の現場で使用したいと思います。
- これからは必要だから
- 現場施工において丁張掛け等の作業がなくなり管理が楽になる。
- 作業員の減少が顕著であり、今後作業員が少ない状況でも測量、施工が可能となる為。
- 従来管理より今行なっている3次元管理のほうが効率が良いから

『ICT 活用実践研修(3 会場)』（全体）受講確認シート集計結果

- 管理が楽になりそう。
- プラスになることが多いと感じるので。
- 基準高管理がとても効率的に進む為
- 今後必須となることを含め業務の効率化のため
- 現場の見える化、施行性の向上
- 現段階で既に ICT を活用しているから
- 今後またどのように変わるのかを知りたい
- 今後のトレンドだから
- 人手不足、技能者高齢化による技能の引き継ぎに後がない、作業の効率化
- 生産性の向上及び効率化の促進。人手不足の解消。
- 便利だから
- 地域としても、会社としても省力化、効率化が課題なので。
- 業務規模に対する費用対効果。

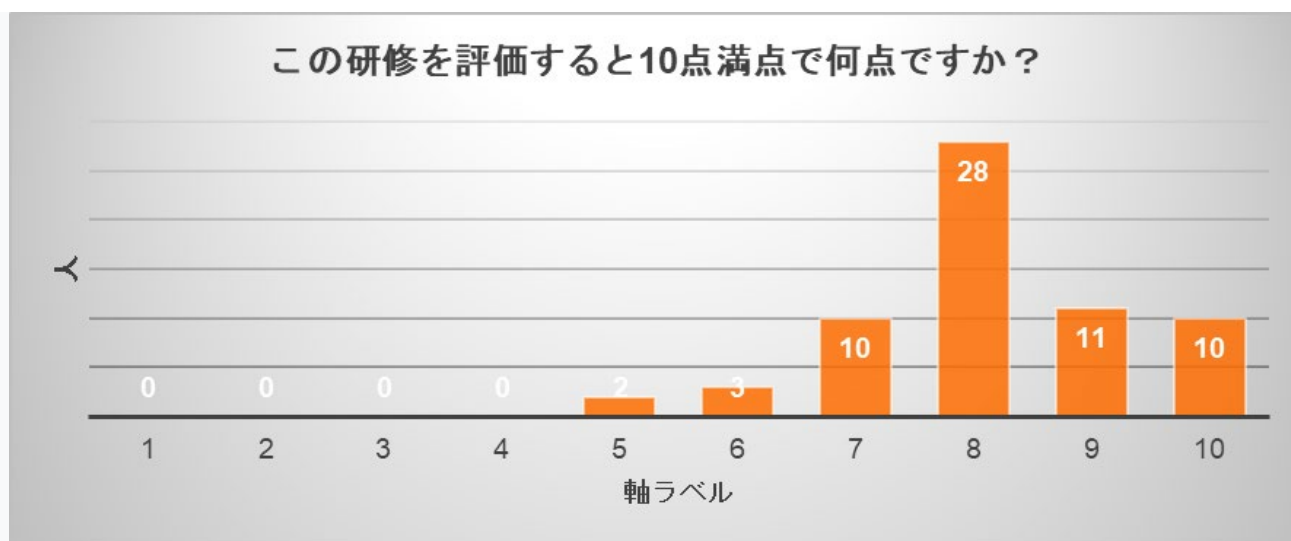
◇ 今後 ICT 研修で学びたい内容があれば記入ください。(凡例:発注者 受注者)

- 災害測量
- 最新情報の提供
- 現場見学
- V-nas を使った 3 次元データ作成
- "①施工管理 DX（遠隔臨場・電子小黒板・クラウド管理）の活用
現場効率化のため、遠隔臨場の留意点、電子小黒板の確認基準、クラウド施工管理ツールの運用方法を理解し、監督業務へ反映したい。
②AI 活用による文書作成・検討業務の効率化
AI を用いた協議資料・説明資料の作成支援や、課題整理の効率化など、発注者業務における AI の適切な利用方法を学びたい。"
- 現場での、測量作業や建機の操縦など、実践的にやりたい
- 3D データの作成
- 線形データのない舗装修繕工事での 3 次元設計データ作成
- 道路の三次元データの作成より、もっと土木よりの護岸工事、治山工事等のコンクリート構造物などがある多工種の工事の三次元データの作成方法が知りたい
- 災害等の緊急時での活用方法
- ICT での出来形管理の仕方を学びたい
- 三次元データの作成について詳しく学びたいかなと思います。
- 今回のようなデータ作成から現場での測量まで段階毎の研修
- 3 次元データの活用方法
- もっと踏み込んだ内容を教えてもらいたい。
- データ作成→重機へのデータ入力までの体験
- 最新技術等があれば、また講習会が実施されればよいと思います。
- 今の技術の向上、今後の最新の ICT の体験ができれば素晴らしいと思います。
- 若手技術者向けの ict 講習
- 舗装工に特化した ICT 研修を行なってほしい
- 色々なメーカーソフトでの実践的な講習

『ICT 活用実践研修(3会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

- 水中の測量(マルチビームの点群取得のデータ作成及び評価のまとめ方)
- ドローンによる測量
- 福井コンピュータのソフトの操作
- 同じ内容でも良いので反復したい また従業員も受けさせたい
- より現実的な設計データ作成。
- 都度都度更新される最新技術
- 工種に特化したもの
- A Rの活用方法学

◇ 評価 AVE : 8.1



評価した内容について理由があれば記入下さい(凡例:発注者 受注者)

- わかりやすかった
- 実際に機械を使っているところを見て説明があり、分かりやすかった。
- ハードルが高い 3D 設計データの作成をなんとなくでも体験して身近に感じた点。
- 外での実習があっても良いと思った。
- もう少し実践があるとよかった。
- 初心者にも分かる説明、講義から、図面作成、実習により、身をもって体験することで、新たな可能性を感じる事ができた。
- データの作成について、こう少し詳しく習いたかったため
- 全体の流れがよく分かった
- ICT 活用して工事を実施する具体的なイメージができなかったため
- わかりやすかった
- 時間の都合上、どうしても駆け足になって細かく説明が聞けなかったのも。
- わかりやすい説明と最新の技術の説明も事細かにされていたので。
- 講師の方が受注者の事を非常に考えていると感じた
- 3次元設計データ作成を実際に操作し行ったから
- 分かりやすく丁寧でした
- 説明が上手くわかりやすかった。
- 勉強になりました
- PC を使った実践はわかりやすかった

『ICT 活用実践研修(3 会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

☆ この講習会全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見を記入してください

(凡例: 発注者 受注者)

- 市町村発注者に毎年研修して欲しい
- 裾野が広がるよう継続的に研修は必要だと思う。
- 発注者に特化した研修があれば参加したい。V-nas を使った 3 次元データ作成実践や監督立会のポイントなど。
- ICT に触れる機会があまりないため、良い経験になりました
- "ICT 活用により工事を施行することにより現場サイドの負担を軽減することを目的としているとのことですが、受注者側で三次元のデータ処理を行うことは現場サイドの負荷の増加になり、現場に必要な労力が増える可能性まで考えられます。
- また、発注者側で三次元測量、及びデータ化することで発注者側の発注時の数量が正確になる、発注者側の工事に対する理解が深まる、且つ発注から工事完了までの時間が短縮されると思います。
- そして、発注者側で三次元測量、及びデータ化して頂くことで受注者側が ICT を活用することに対する敷居が下がり、ICT 活用工事の普及が推進され、本来の ICT 活用工事の目的に沿った形になると思いますので、是非島根県管内で検討して頂けると幸いです。"
- 三次元データの作成等めんどうくさいかなと言うイメージがありましたが、いざやってみると出来なくもないかなと思うのでこれから少しずつでも触れて行けたらと思います。また定期的に ICT の研修会を開催してもらえたらと思います。
- "初級・中級・上級者に分かれて講習を行って欲しい。
- 福井コンピュータのソフトのセミナーが少ないので、そこにフォーカスして欲しい
- また開催の際は参加したいです ICT をはじめるにあたって手始めに何から始めれば良いかオススメの計画案があれば知りたい 私は手始めに杭ナビから購入したいと思ってます
- 技術者の講習会は多いが、発注者や経営者へ ICT の知識等を講習して頂きたい。
- 実演や実技等がある場合は今回程度の規模が分かりやすくして良いと思った

発注者と受注者の対比

左: **発注者** 右: 受注者

『ICT 活用実践研修(3会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

発注者

受注者

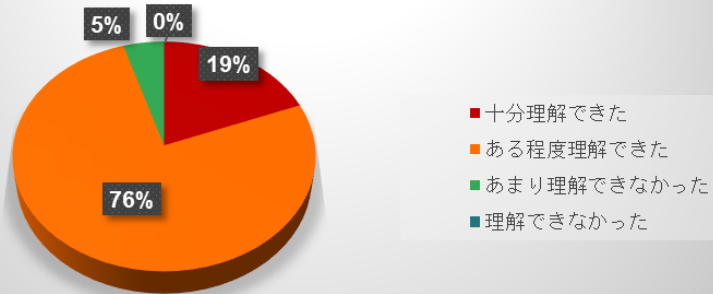
今回の研修に参加した動機は何ですか？(複数選択可)



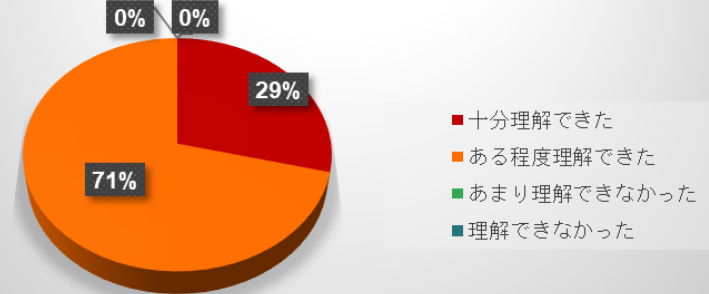
今回の研修に参加した動機は何ですか？(複数選択可)



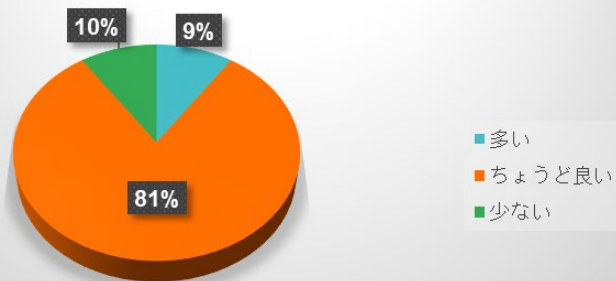
本研修の内容について理解できましたか？



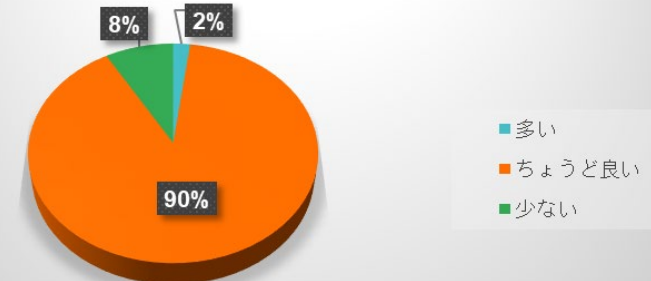
本研修の内容について理解できましたか？



本研修の時間配分は適当でしたか？

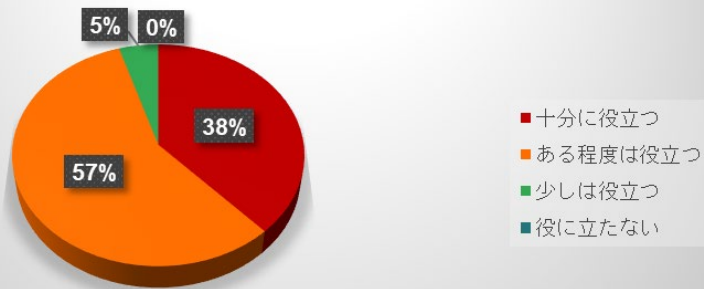


本研修の時間配分は適当でしたか？

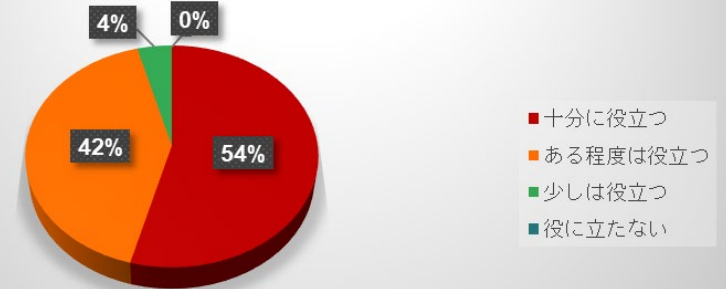


『ICT 活用実践研修(3会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

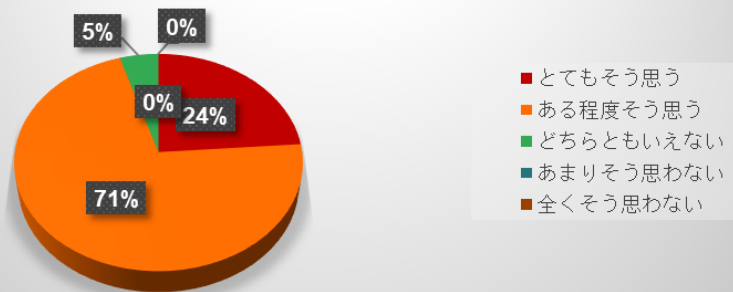
本研修は今後の仕事に役立ちますか？



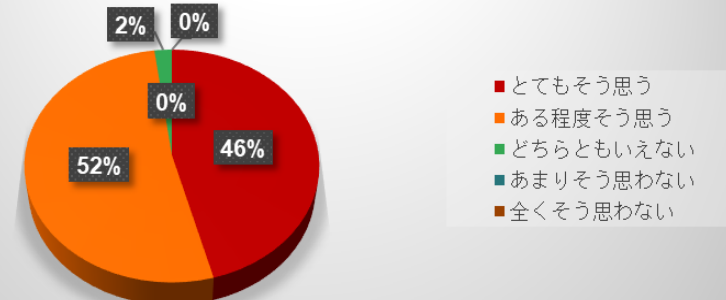
本研修は今後の仕事に役立ちますか？



発注者の方に伺います。
ICTを（新たに、引き続き）活用したいと思いましたか？



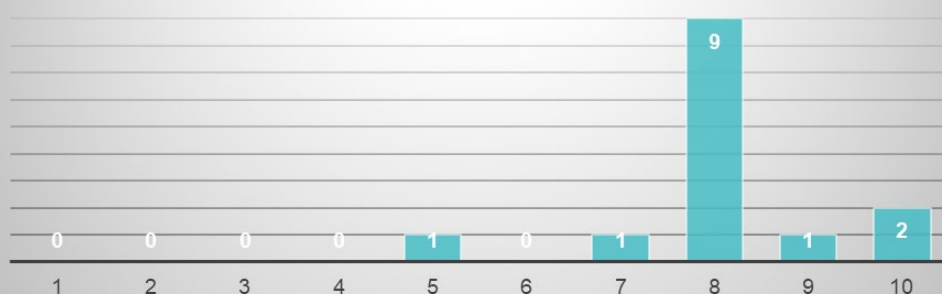
受注者の方に伺います。
ICTを（新たに、引き続き）活用したいと思いましたか？



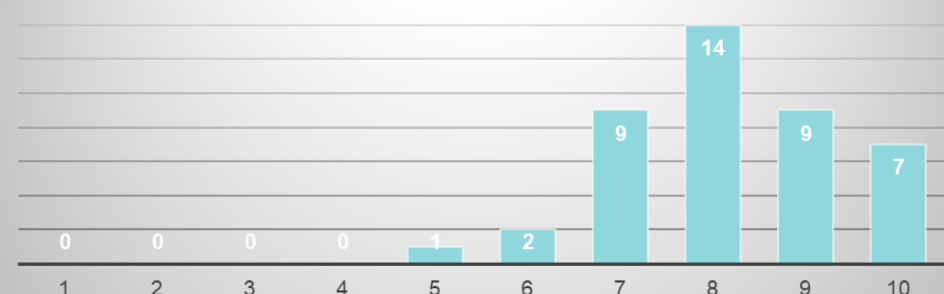
評価 AVE= 8.2

評価 AVE= 8.1

この研修を評価すると10点満点で何点ですか？



この研修を評価すると10点満点で何点ですか？



『ICT 活用実践研修(3 会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

発注者・受注者の両方に伺います。

⑥の質問でそのように思う理由は何ですか。(凡例:発注者 受注者)

- 工事を行う上でとても便利だと感じたから
- 今の部署では発注工事がないが、今後発注部門に変わったときに生かしていきたい。
- 今後の経験のため
- これから必要となる分野だから
- 作業の効率化が図られるため。
- 受発注者ともに ICT を活用することでメリットがあると感じたから
- これからは当たり前になっていくことが理解できたため
- 技術や製品の進歩が速く、常に最新情報や制度の動向に関心をもっておくべきと感じるから
- 技術は進歩しているから
- 受注者、発注者ともに利点があると思ったから。
- 施工スピードがはやく、また協議の際に 3次元設計データがあるとわかりやすいから。
- 担い手不足解消に繋がるとは思いますが、環境的に難しい場所で施行が出来ないところがある。
- 生産性の向上に必ずつながる為
- 大規模な工事が少ない
- 省力化のために必要とは思いますが、事務手続きが増えることが億劫
- 今後 ICT 活用が必須となるため。
- "建設業界では担い手不足・長時間労働などの課題があり、ICT はそれらを解決する重要な鍵となっています。また、ICT の活用によって、これまで手作業で時間がかかっていた業務を効率化し、ミスの削減や生産性向上につながれると本日改めて感じました。ICT の活用が進むことで、より安全で効率的な現場づくりに貢献でき、島根県全体の建設工事の未来を支えることが出来ると感じています。"

- これからの施工の標準的な考え方になってくるため
- 業務の効率化
- 作業の効率化により作業時間や人員が削減できると思うため
- 工事内容による
- ICT を活用することにより、業務の効率化や人手不足の対策とすることができると思う。
- 今後、ICT が主流になると思うから
- そのうち義務化されそうだから 面白いから
- 発注者指定になって行くと思うから
- やはり工事規模によりけりだと思うから
- 省人化の時代で今後国の方針としてもやる時代が来ると思うから
- 便利だと思うが、機器やソフトの購入費用がかなり必要、及び現場サイドへの ICT 施工に関する負担が甚大であるから
- 自社の請負では対象となる工事が少ないため
- 実際圃場整備の現場で活用しているので参考になった
- 建設業へ従事する人手不足、作業員の高齢化、作業効率等も鑑みると引き続き活用をしていかなければならないかなと思います。
- 作業効率の向上やミスの減少が図れるがデータ作成に多少手間がかかる
- 省力化
- 使いこなせればとても良いものだと思うから
- 作業効率が向上すると思ったから
- 施工力が上がるため
- 活用することで施工能力が向上すると感じたから
- 時代にあった働き方だと思うので
- 現場での作業時間の短縮が見込めそうだから
- 自社も機械を導入した為、次の現場で使用したいと思います。
- これからは必要だから
- 現場施工において丁張掛け等の作業がなくなり管理が楽になる。

『ICT 活用実践研修(3 会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

- 作業員の減少が顕著であり、今後作業員が少ない状況でも測量、施工が可能となる為。
- 従来管理より今行なっている 3 次元管理のほうが効率が良いから
- 管理が楽になりそう。
- プラスになることが多いと感じるので。
- 基準高管理がとても効率的に進む為
- 今後必須となることを含め業務の効率化のため
- 現場の見える化、施行性の向上
- 現段階で既に ICT を活用しているから
- 今後またどのように変わるのかを知りたい
- 今後のトレンドだから
- 人手不足、技能者高齢化による技能の引き継ぎに後がない、作業の効率化
- 生産性の向上及び効率化の促進。人手不足の解消。
- 便利だから
- 地域としても、会社としても省力化、効率化が課題なので。
- 業務規模に対する費用対効果。

『ICT 活用実践研修(3 会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

◇ 今後 ICT 研修で学びたい内容があれば記入ください。

(凡例:発注者・受注者)

- 災害測量
- 最新情報の提供
- 現場見学
- V-nas を使った 3 次元データ作成
- "①施工管理 DX (遠隔臨場・電子小黒板・クラウド管理) の活用
現場効率化のため、遠隔臨場の留意点、電子小黒板の確認基準、ク
ラウド施工管理ツールの運用方法を理解し、監督業務へ反映した
い。
②AI 活用による文書作成・検討業務の効率化
AI を用いた協議資料・説明資料の作成支援や、課題整理の効率化な
ど、発注者業務における AI の適切な利用方法を学びたい。"
- 現場での、測量作業や建機の操縦など、実践的にやりたい
- 3D データの作成
- 線形データのない舗装修繕工事での 3 次元設計データ作成
- 道路の三次元データの作成より、もっと土木よりの護岸工事、治山
工事等のコンクリート構造物などがある多工種の工事の三次元デー
タの作成方法が知りたい
- 災害等の緊急時での活用方法
- ICT での出来形管理の仕方を学びたい
- 三次元データの作成について詳しく学びたいかなと思います。
- 今回のようなデータ作成から現場での測量まで段階毎の研修
- 3 次元データの活用方法
- もっと踏み込んだ内容を教えてもらいたい。
- データ作成→重機へのデータ入力までの体験
- 最新技術等が有れば、また講習会が実施されればよいと思います。
- 今の技術の向上、今後の最新の ICT の体験ができれば素晴らしいと
思います。
- 若手技術者向けの ict 講習
- 舗装工に特化した ICT 研修を行なってほしい
- 色々なメーカーソフトでの実践的な講習
- 水中の測量(マルチビームの点群取得のデータ作成及び評価のまとめ
方)
- ドローンによる測量
- 福井コンピュータのソフトの操作
- 同じ内容でも良いので反復したい また従業員も受けさせたい
- より現実的な設計データ作成。
- 都度都度更新される最新技術
- 工種に特化したもの
- A R の活用方法学

『ICT 活用実践研修(3 会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

評価した内容について理由があれば記入下さい(凡例:発注者 受注者)

- わかりやすかった
- 実際に機械を使っているところを見て説明があり、分かりやすかった。
- ハードルが高い 3D 設計データの作成をなんとなくでも体験して身近に感じた点。
- 外での実習があっても良いと思った。
- もう少し実践があるとよかった。
- 初心者にも分かる説明、講義から、図面作成、実習により、身をもって体験することで、新たな可能性を感じる事ができた。

- データの作成について、こう少し詳しく習いたかったため
- 全体の流れがよく分かった
- ICT 活用して工事を実施する具体的なイメージができなかったため
- わかりやすかった
- 時間の都合上、どうしても駆け足になって細かく説明が聞けなかった。
- わかりやすい説明と最新の技術の説明も事細かにされていたので。
- 講師の方が受注者の事を非常に考えていると感じた
- 3次元設計データ作成を実際に操作し行ったから
- 分かりやすく丁寧でした
- 説明が上手くわかりやすかった。
- 勉強になりました
- PC を使った実践はわかりやすかった

『ICT 活用実践研修(3 会場)』(全体) 受講確認シート集計結果

◇ この講習会全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見を記入してください (凡例:発注者 受注者)

- 市町村発注者に毎年研修して欲しい
- 裾野が広がるよう継続的に研修は必要だと思う。
- 発注者に特化した研修があれば参加したい。V-nas を使った 3 次元データ作成実践や監督立会のポイントなど。

- ICT に触れる機会があまりないため、良い経験になりました
- "ICT 活用により工事を施行することにより現場サイドの負担を軽減することを目的としているとのことですが、受注者側で三次元のデータ処理を行うことは現場サイドの負荷の増加になり、現場に必要な労力が増える可能性まで考えられます。
- また、発注者側で三次元測量、及びデータ化することで発注者側の発注時の数量が正確になる、発注者側の工事に対する理解が深まる、且つ発注から工事完了までの時間が短縮されると思います。
- そして、発注者側で三次元測量、及びデータ化して頂くことで受注者側が ICT を活用することに対する敷居が下がり、ICT 活用工事の普及が推進され、本来の ICT 活用工事の目的に沿った形になると思いますので、是非島根県管内で検討して頂けると幸いです。"
- 三次元データの作成等めんどくさいかなと言うイメージがありましたが、いざやってみると出来なくもないかなと思うのでこれから少しずつでも触れて行けたらと思います。また定期的に ICT の研修会を開催してもらえたらと思います。
- "初級・中級・上級者に分かれて講習を行って欲しい。
- 福井コンピュータのソフトのセミナーが少ないので、そこにフォーカスして欲しい
- また開催の際は参加したいです ICT をはじめるにあたって手始めに何から始めれば良いか オススメの計画案があれば知りたい 私は手始めに杭ナビから購入したいと思ってます
- 技術者の講習会は多いが、発注者や経営者へ ICT の知識等を講習して頂きたい。
- 実演や実技等がある場合は今回程度の規模が分かりやすく良いと思った